

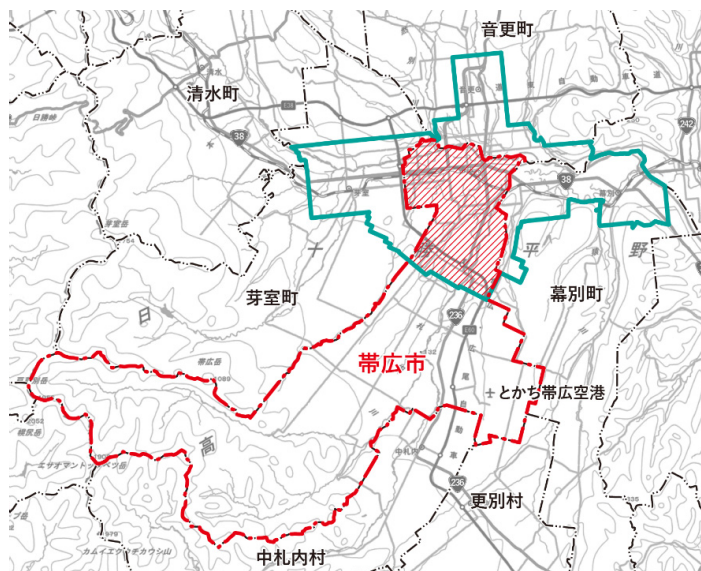
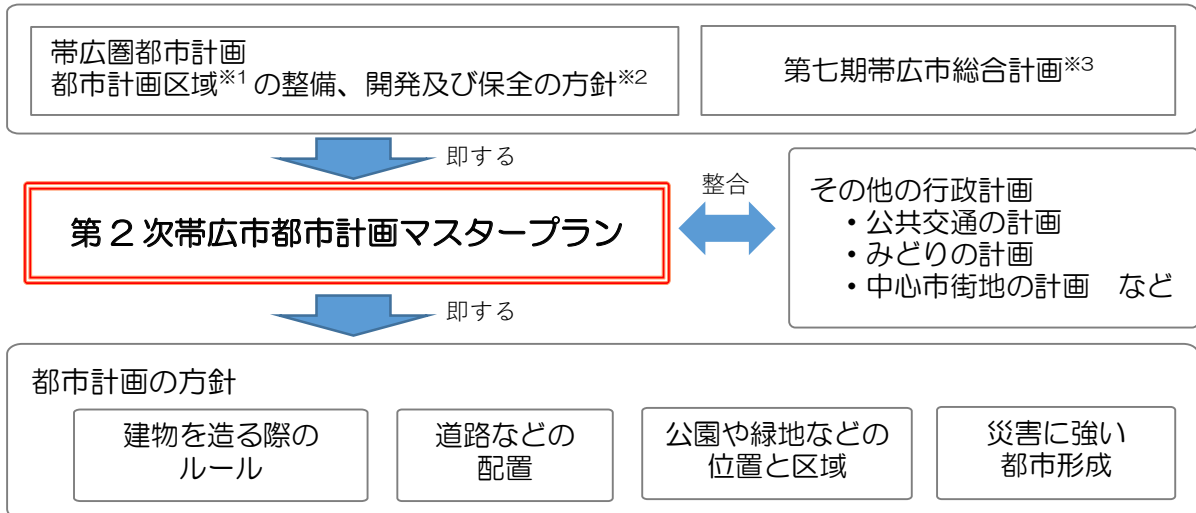
1

はじめに

# 1 はじめに

都市計画の基本的な方針などを定めたものを「都市計画マスタープラン」といいます。  
 帯広市では、2003（平成15）年に策定した「帯広市都市計画マスタープラン」について、  
 社会情勢の変化などを踏まえて、2020（令和2）年に「第2次帯広市都市計画  
 マスタープラン」として策定しました。

## ◆ 第2次帯広市都市計画マスタープランの位置づけと対象区域



対象区域： 帯広市の都市計画区域  
 （10,369ha）  
 計画期間：20年  
 2020（令和2）年度～  
 2039（令和21）年度

凡 例	
	帯広市の行政区
	帯広市の都市計画区域
	帯広圏の都市計画区域



都市マス※4は、住む人、働く人、訪れる人…  
 誰にとっても、安全・安心で快適な場所・空間と  
 なるように都市の将来像を描いたものなんだよ。

僕たちの生活に密接に  
 関わるものなんだね。



よく知らなかったけど、  
 大切な計画なんだね。



※1 都市計画区域：都市計画法その他関連法令の適用を受けるべき土地の区域。  
 ※2 整備、開発及び保全の方針：都市計画区域毎に都道府県が定める都市計画の総合的な方針。  
 ※3 第七期帯広市総合計画：行政運営やまちづくりを進めるうえでの総合的な指針。  
 ※4 都市マス：都市計画マスタープランの略。

## 2 都市の現況

十勝平野の中央に位置しており、面積は 619.34km<sup>2</sup> で東京 23 区とほぼ同じ大きさです。本市の都市の原型は、北海道の拓殖計画（1893（明治 26）年）に基づいた、格子状の街区になります。

1957（昭和 32）年には、川西町、大正町と合併して現在の市域となりました。以降、緑の工場公園<sup>※5</sup>として整備した工業団地や市街地を緑で囲む帯広の森事業、JR 帯広駅周辺整備など、計画的に都市基盤<sup>※6</sup>や住環境の整備が進められてきました。



### ◆ 社会情勢の変化

#### ① 市街地の低密度化

低・未利用地<sup>※7</sup>の増加などによる人口密度<sup>※8</sup>の低下に伴い、市民の日常生活を支えるサービスや都市施設等を維持・存続することが困難になる恐れがあります。

#### ② 公共交通の低い利用率

自家用車の普及と道路整備の進展などを背景に、本市では公共交通や徒歩、自転車などを利用する市民の割合が同規模自治体に比べて低く、自家用車に依存する傾向が強くなっています。



#### ③ 都市施設等の老朽化

道路や公園、下水道などの都市施設をはじめ、市営住宅や小中学校などの老朽化等により今後大規模な改修や更新が必要な時期を迎えます。



#### ④ 自然災害リスクの高まり

近年、全国的に、大規模な地震や洪水などの自然災害が多発しています。



お客さんが減ったからスーパーが閉店したのかな？



人口が減ってるって事は働く人も減ることなのかな？

帯広市だけじゃなく、日本全体で人口が減っていきと予測されているんだ。だから、まちを大きくするのではなく、これまで造ってきた道路や公園などを大切に使うことが大事なんだよ。

「少子高齢化」とか「人口減少」ということは日本の社会全体で起きているよね。詳しくは P12,13 で解説するよ！



1

はじめに

2

都市の現況

3

基本理念

4

将来都市構造

5

分野別方針

6

実現に向けて

7

資料

3

※5 緑の工場公園：十勝の水と空気を守っていくという考えで造られた帯広工業団地の通称。

※6 都市基盤：道路・公園・下水道など、都市として不可欠な施設。

※7 低・未利用地：適切に有効活用されることが望ましい土地であるにも関わらず、長期間に渡り利用されていない「未利用地」と、周辺地域の利用状況に比べて利用の程度（利用頻度、整備水準、管理状況）が低い「低利用地」の総称です。

※8 人口密度：人口統計において、単位面積 1 km<sup>2</sup> あたりに居住する人の数により定義される数値。

1

はじめに

2

都市の現況

3

基本理念

4

将来都市構造

5

分野別方針

6

実現に向けて

7

資料

### 3 基本理念

本市では、少子高齢化や人口減少社会を見据え、地域の歴史や特性を活かしながら、自然環境や人にやさしくコンパクトで持続可能なまちづくりに取り組んできました。

人口減少や高齢化が進行する中、誰もが安全安心に暮らすことができる地域社会を実現するためには、将来をしっかりと見据え、持続可能なまち<sup>※9</sup>の基盤を整えていくことがますます重要となっています。

みんなで創り 未来へつなぐ  
みどり豊かな帯広の 心地よい暮らし



- ・ 帯広の森に象徴されるみどり豊かで住み心地のよい都市空間を、後世に継承します。
- ・ 一人ひとりが誇りと愛着を持てる豊かな地域社会の実現に向け、市民との協働により取り組みを進めます。
- ・ まちの活力を効果的に高める場所（まちのツボ<sup>※10</sup>）を探り、様々な主体による創意工夫により、個性ある都市空間を形成します。
- ・ 蓄積された都市基盤を有効に活用するため、施設等の長寿命化や効果的な維持・管理、更新を進めます。
- ・ 効率的で環境への負荷を抑えた都市構造の形成を図り、公共交通や自転車、自家用車などのバランスの取れた利用を促進します。
- ・ 災害時の交通確保や火災の拡大を阻止するための措置を講ずるなど、自然災害のリスクに対応した都市を形成します。



基本理念は、帯広市の都市計画の基本となる考え方のことなんだ。  
「みんなでまちを創り、君たち若い世代に引き継いでいくこと」を大切な考え方としているんだよ。

「未来へつなぐ」っていうのは、僕たちや未来の子ども達に引き継いでいくってことなんだね。



都市計画って、長期的な目線で考えられているんだね。



※9 持続可能なまち：将来にわたって、そこに住む人々が、安心して生活し、お年寄りも子どもたちも元気に暮らせるまち。

※10 まちのツボ：P11 参照。

## 4 将来都市構造（基軸と補完軸）

都市形成の歴史や都市機能<sup>※11</sup>の集積などを踏まえ、基軸と補完軸を位置付け、集積された都市基盤などが有効に活用され、周辺への波及・相乗効果が発揮されるような土地利用を図るとともに、都市施設<sup>※12</sup>等の整備などに取り組みます。

### 3つの基軸と補完軸



基軸と補完軸って例えば人間の体で言うと、「骨」みたいなもの？

そうだね。だからまちにとって重要なものなんだ。基軸や補完軸を中心にまちが広がっていくイメージなんだよ。



1 はじめに

2 都市の現況

3 基本理念

4 将来都市構造

5 分野別方針

6 実現に向けて

7 資料

※11 都市機能：公共施設のほか、教育、医療など、都市の生活を支える機能。

※12 都市施設：道路・公園・下水道・廃棄物処理施設など、都市の骨格を形成する施設の総称。

1

はじめに

2

都市の現況

3

基本理念

4

将来都市構造

5

分野別方針

6

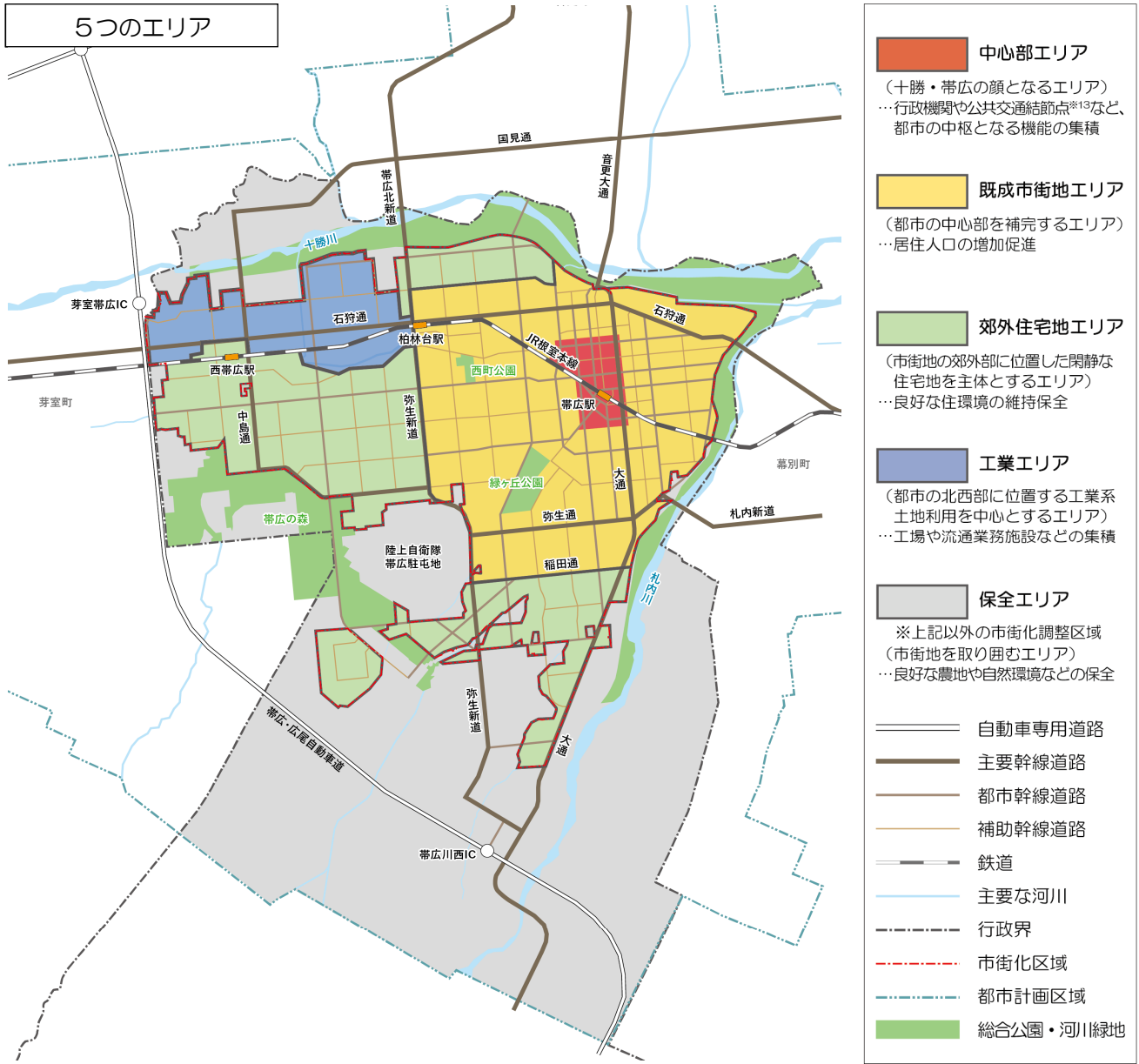
実現に向けて

7

資料

## 4 将来都市構造（5つのエリア）

中心部や住宅地などの成り立ちや役割を踏まえ、都市計画区域を5つのエリアに区分します。基本理念に基づき、これら5つのエリアの20年後の目指す姿や取り組みの方向性を示し、各エリアの特性を活かしながら個性ある都市空間の形成を目指します。



大まかに5つのエリアに分けることで、それぞれの地域の特性を活かしたきめ細かなまちづくりをしているんだよ。

まちを大まかに分けることで、色々な特色をもった地域がつけられているんだね！



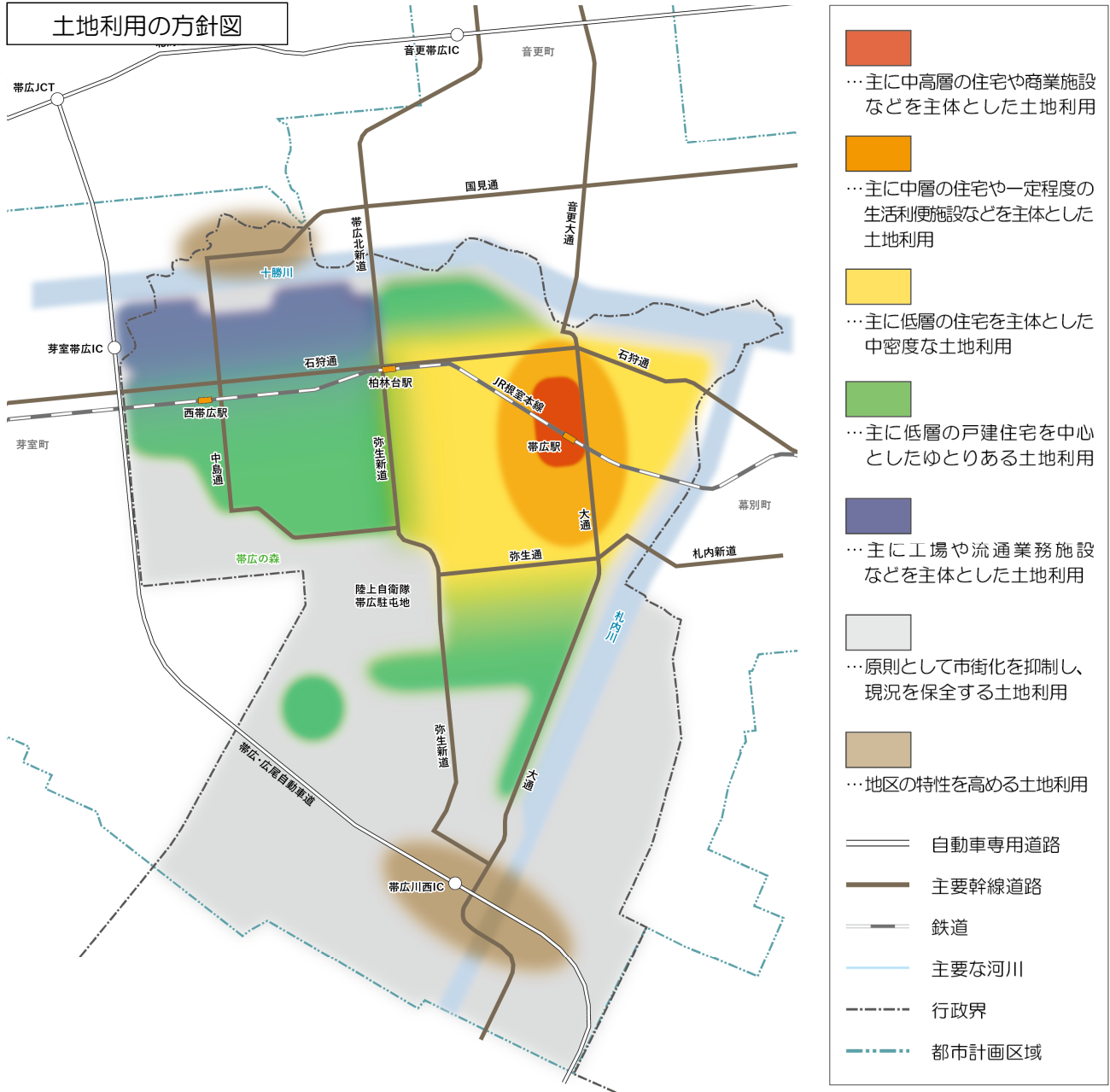
ほんとだ！お父さんの働いている工場は青色の工業エリアにあったよ！



※13 交通結節点：異なる交通手段（場合によっては同じ手段）を相互に連絡する乗り換え・乗り継ぎ施設。

## 5 分野別方針（土地利用）

これまでの土地利用を基本としながら、良好な自然環境の保全に配慮しつつ、必要に応じて用途地域※14の見直しや、地区計画※15の指定について検討を行うとともに市街化区域内の未利用宅地の利用を促進するなど、合理的な土地利用を進めます。



中心部エリアなら高い建物がギッシリと、郊外住宅地エリアなら低い建物をゆったりと建てるようなルールを定めているんだよ。

私の家のまわりはマンションが多いよ！  
これも土地利用のルールが関係しているのかな？



1 はじめに

2 都市の現況

3 基本理念

4 将来都市構造

5 分野別方針

6 実現に向けて

7 資料

7

※14 用途地域：用途の混在を防ぐ目的で土地利用に制限を課するもの。

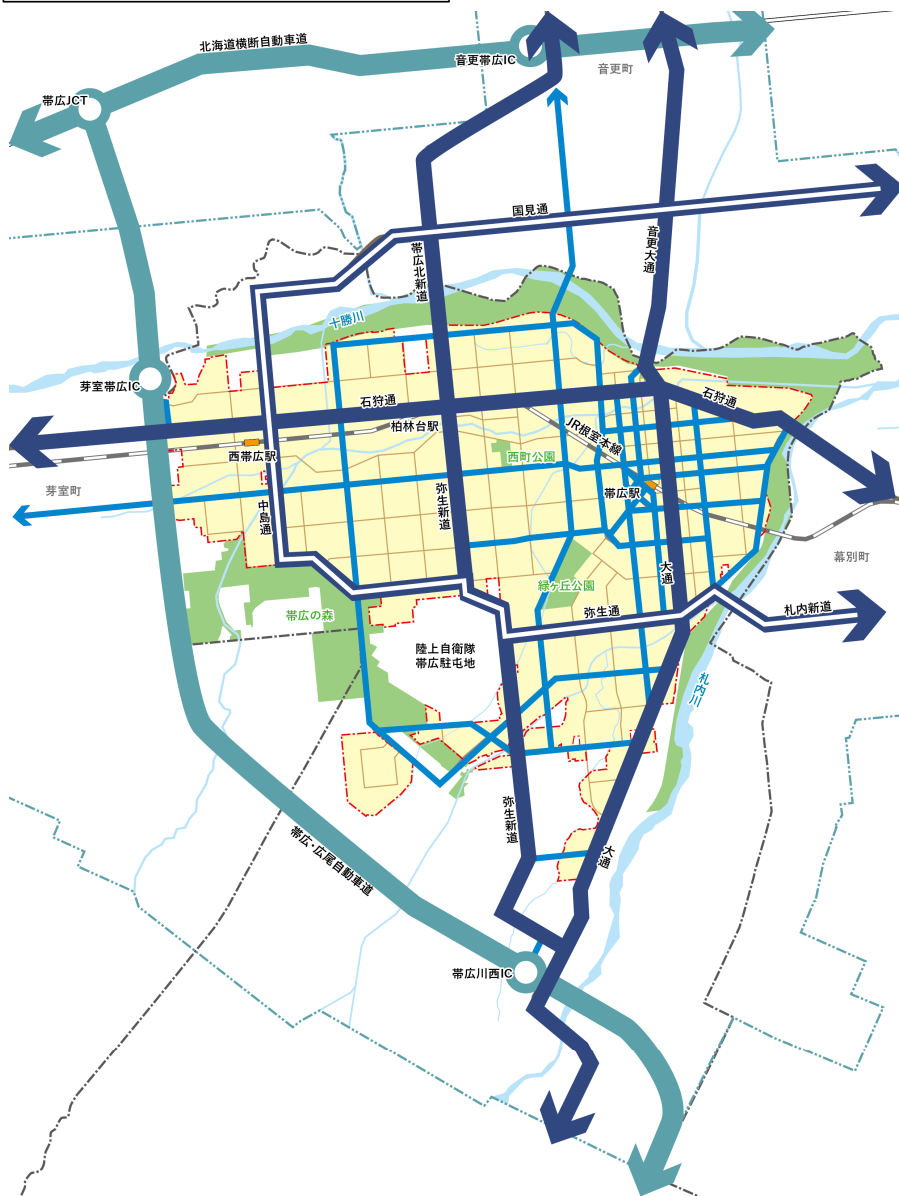
※15 地区計画：それぞれの地区の特性に応じて、良好な都市環境の形成を図るために必要なことから定める「地区レベルの都市計画」。

## 5 分野別方針（都市施設）

道路や公園、下水道など、経済・産業及びその他の市民活動を確保するうえでの根幹となる都市施設について、既存ストック※16を活用することを基本として長寿命化や効果的な維持・管理を進め、必要に応じて更新等を検討します。

また、多様な都市活動や人・物資の移動を支えるため、安全安心な道路環境整備や雪道対策などを進めるほか、持続可能な公共交通※17の実現を図ります。

道路・交通体系の形成方針図



⇄ 自動車専用道路

…北海道横断自動車道及び帯広・広尾自動車道

⇄ 主要幹線道路（4放射）

…石狩通・音更大通・帯広北新道・大通・弥生新道からなる東西南北4方向へ延びる道路

⇄ 主要幹線道路（1環状）

…国見通・中島通・弥生通・札内新道からなる帯広圏を環状に結ぶ道路

⇄ 都市幹線道路

…都市内の各地区又は主要な施設相互間の交通を集約して処理し、都市の骨格を形成する道路

補助幹線道路

…主要幹線道路又は都市幹線道路で囲まれた区域内において幹線道路を補完し、区域内に発生集中する交通を効率的に集散させるための補助的な道路

— 鉄道

— 主要な河川

--- 行政界

- - - 市街化区域

- - - 都市計画区域

■ 総合公園・河川緑地



学校とか買い物へ行くにも、やっぱり道路は必要だね。

そうだね。都市マスでは、幹線道路や生活道路などの整備促進や、他にもバスなどの公共交通の利便性向上についての考え方も定めているよ。



※16 既存ストック：市街地において今まで整備されてきた道路・公園・上下水道などの都市基盤施設や住宅、商業施設、業務施設、工業施設など。

※17 公共交通：地域住民の日常生活若しくは社会生活における移動又は観光旅客その他の当該地域への来訪者の移動のための交通手段として利用される公共的な交通機関。

### みどりの形成方針図



#### 骨格となる緑の軸

- 水系軸  
…十勝川・札内川
- 外環軸  
…帯広の森を核とし十勝川・札内川へ繋がる軸
- 都市間軸  
…水系軸や外環軸をつなぐ3本の軸

#### 骨格をつなぐ主要なネットワーク(河川)

- …帯広川・ツツバツ川・売買川などの河川

#### 骨格をつなぐ主要なネットワーク(道路)

- …弥生新道・栄通・学園通などの道路

#### 緑のネットワーク拠点

- …帯広の森や緑ヶ丘公園などのネットワークの拠点となるエリア

地区公園

総合公園

緑地

自動車専用道路

主要幹線道路

都市幹線道路

補助幹線道路

鉄道

主要な河川

行政界

市街化区域

都市計画区域

### ○ その他の都市施設

- 下水道（十勝川流域下水道、帯広公共下水道）
- 河川（十勝川、札内川）
- 駐車場（帯広駅北口地下駐車場）
- 高速鉄道（北海道旅客鉄道株根堂本線）
- ごみ焼却場（くりりんセンター）
- その他処理施設（十勝リサイクルプラザ）
- 市場（帯広魚菜卸売市場）
- と畜場（十勝総合食肉流通施設）
- 火葬場（帯広火葬場）
- 墓園（つつじが丘霊園、中島霊園、緑ヶ丘墓園）



帯広は、公園や街路樹などみどりがとても多くて、それが特徴の一つになっているよ。  
みどりのある所は憩いの場となり、市民に潤いを与えるね。

自然がいっぱいなところが、帯広のいいところだよね。



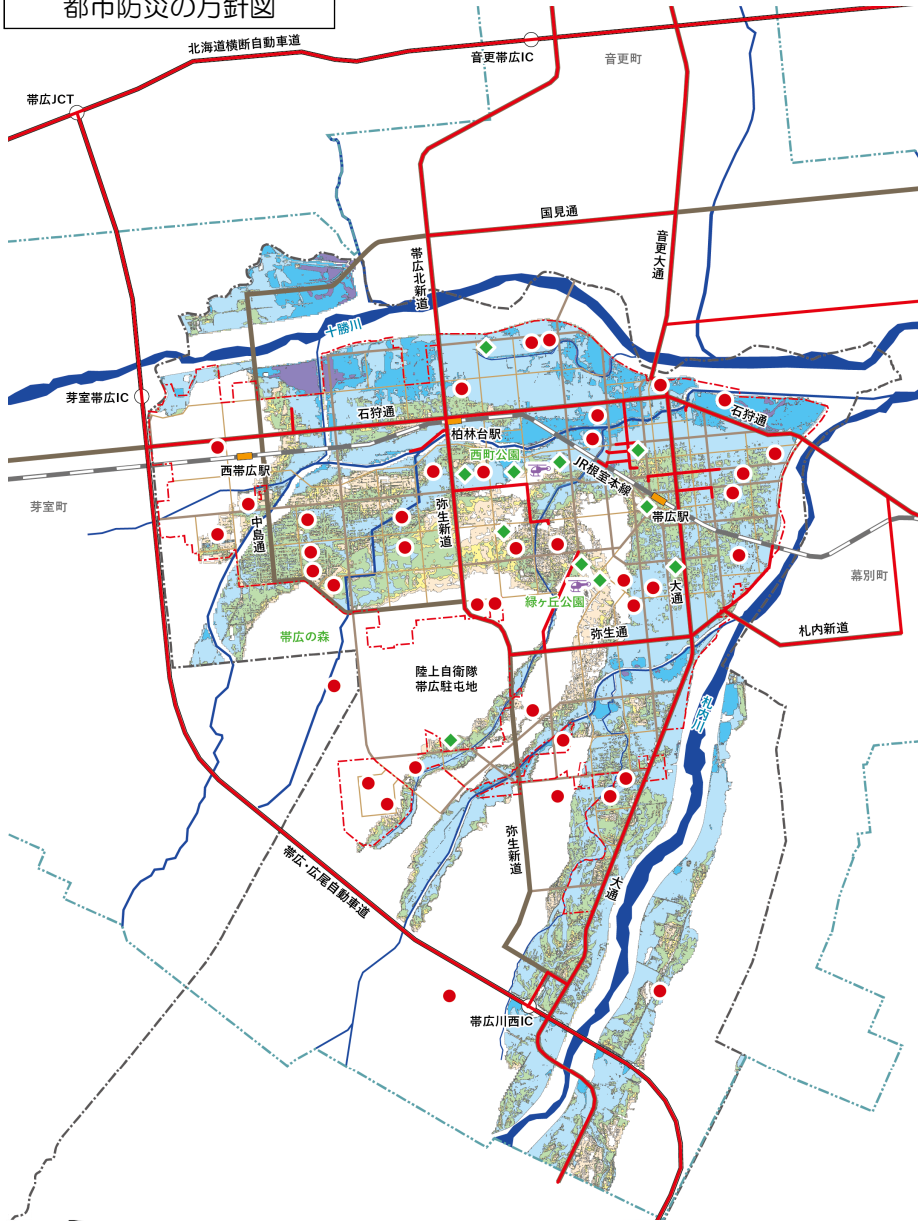


## 5 分野別方針（都市環境）

災害対策の充実や地域の防災力の強化などを総合的に推進し、災害発生後においても、避難、復旧に迅速に対応できる災害に強い都市形成を進めます。

また、市民と協働し、帯広らしい魅力ある都市景観の創出を図ります。

都市防災の方針図



- 浸水想定区域 (5.0m以上)
- 浸水想定区域 (3.0m~5.0m未満)
- 浸水想定区域 (1.0m~3.0m未満)
- 浸水想定区域 (0.5m~1.0m未満)
- 浸水想定区域 (0.3m~0.5m未満)
- 浸水想定区域 (0.3m未満)

※浸水想定区域は令和元年12月策定の帯広市洪水ハザードマップによる

- 災害時に通行を確保すべき道路
- 指定避難所  
…災害の危険があり避難した住民等を災害の危険性がなくなるまでに必要な間滞在させ、または災害により家に戻れなくなった住民等を一時的に滞在させるために指定した施設
- 広域避難場所  
…主として大規模火災の災害から住民の安全を確保するための避難場所として指定した場所
- ヘリコプターの離着陸可能地  
…帯広競馬場、緑ヶ丘公園多目的広場

- 自動車専用道路
- 主要幹線道路
- 都市幹線道路
- 補助幹線道路
- 鉄道
- 主要な河川
- 行政界
- 市街化区域
- 都市計画区域



最近、地震や台風などのニュースをよく見るよね。



いつ、災害が起きるかと思うと怖い。

都市マスには、震災や水害などの自然災害への考え方も示しているんだ。災害に強いまちにすることが、ますます重要になってきているんだよ。



## 6 実現に向けて

市民や事業者と行政との協働により、各地域における「まちのツボ」を探りながら、その地域の活性化につながる「まち育て」の取り組みを推進します。

### ◆「まち育て」と「まちのツボ」

#### ○ まち育て

親が子どもを慈しみ育てるように、市民やNPO、事業者、行政など多様な主体が、自分たちの住むまちに愛着と誇りを持ってまちをつくり上げる姿勢を強調しています。

まちづくりということばからは、新しいモノを作り出すイメージがありますが、「まち育て」は、まちで暮らしている私たちが、住みやすい、働きやすい、心地よいなどを目標に、市民、事業者、行政が互いにパートナーとして協働でまちを育てていく意識や行動を示しています。



#### ○ まちのツボ

市民や事業者の皆さんの主体的な取り組みにより、周辺地域の活力を向上させる波及効果が期待できる場所を、押すと元気になる人体のツボになぞらえています。

「まちのツボ」は、具体的な場所が定まっているわけではなく、そこで取り組まれる内容も千差万別です。例えば、活力が失われている場所や空地などでのイベント開催やコミュニティ空間の設置など、市民や事業者の皆さんの創意工夫が発揮できる場所や取り組みを行政と一緒に探っていきます。



「まち育て」って何？



「親が子どもを育てるように、まちもみんなで育てて行こう！」  
っていうのが「まち育て」の考え方だよ。

人の体には、指で押したりすると体調が良くなる“ツボ”と呼ばれる部分があるよね。

まちにも、その場所を元気にすることで、地域全体が活気づくような、そんな場所があるとと思うんだ。  
みんなで一緒に探そう！



1

はじめに

2

都市の現況

3

基本理念

4

将来都市構造

5

分野別方針

6

実現に向けて

7

資料

11

1 はじめに

2 都市の現況

3 基本理念

4 将来都市構造

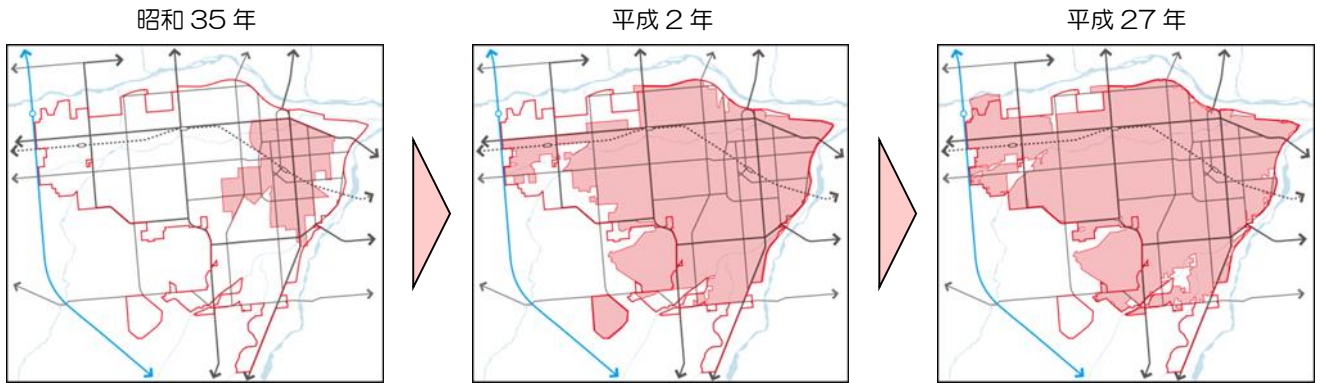
5 分野別方針

6 実現に向けて

7 資料

## 7 資料（都市の現況）

### ◆ 人口集中地区※18の変遷

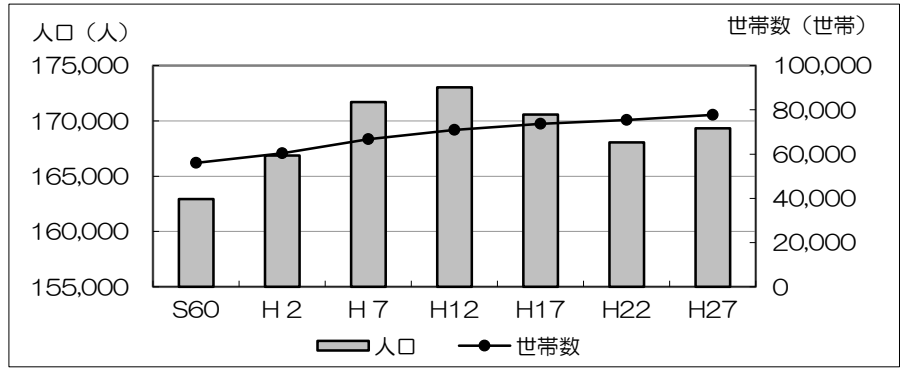


少子高齢化・人口減少が進行し、人口密度が低下しています。また、世帯数は増加する一方、一世帯当たりの人員が減少しており、核家族化の傾向を強く示しています。

一世帯当たりの人員

年別	一世帯当たり人員 (人口/世帯数)
S60	2.91
H 2	2.76
H 7	2.57
H12	2.44
H17	2.32
H22	2.23
H27	2.18

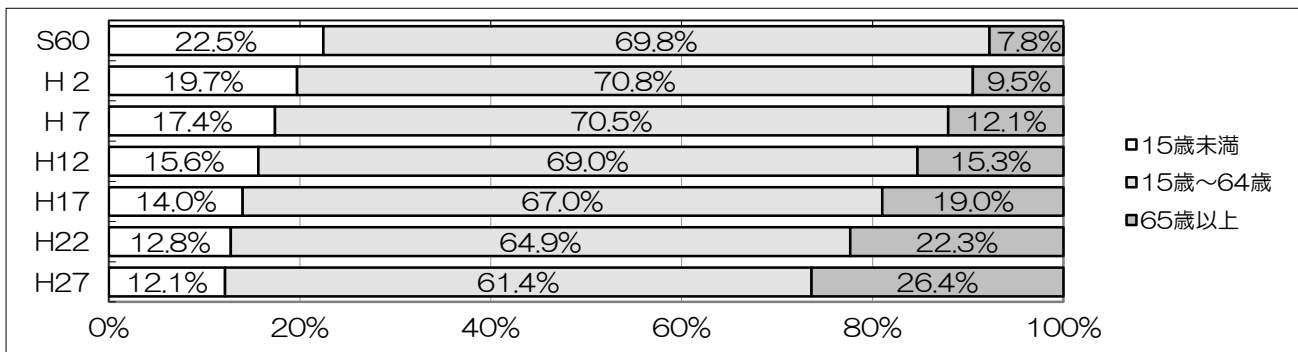
帯広市の人口推移



資料：国勢調査

少子高齢化が進行し、子どもの数がお年寄りの半分以下にまで減っています。

年齢構成の推移



資料：国勢調査



平成12年を境に人口が減ってきているね。

人口も減っているけど、その内訳も注目しなければならないよ。人口の減少に加えて、子どもの割合が減っている以上にお年寄りが増えてきているんだ。もっと、お年寄りにも優しいまちを目指さなければならないね。



※18 人口集中地区：国勢調査において、人口密度が4,000人/km<sup>2</sup>以上の区域が、互いに隣接して合わせて5,000人以上となっているエリア。

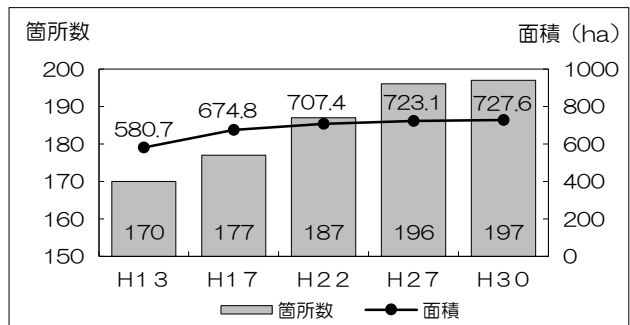
帯広市の都市施設は、いずれも十分な整備状況にあり、これまでつくってきた施設を適切に維持・管理していくことが重要です。

都市計画道路の現況

区分	都市計画 決定延長 A(km)	舗装延長 B(km)	整備率 B/A(%)	暫定整備 C(km)	整備率 C/B(%)
国道	23.2	23.2	100.0%	4.4	18.9%
道道	36.9	36.3	98.2%	3.8	10.5%
市道	133.1	132.1	99.2%	15.1	11.4%
計	193.2	191.6	99.1%	23.3	12.2%

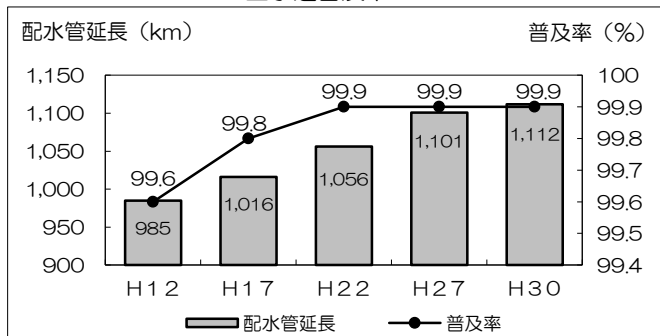
資料：(市) 土木課 (平成 30 年度末)

公園の面積と箇所数(都市計画区域内)



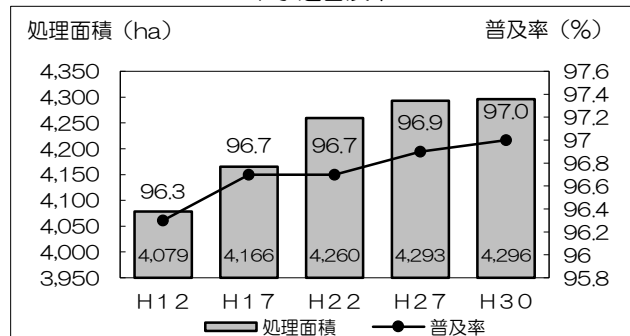
資料：(市) みどりの課

上水道普及率



資料：各年度末(市) 上下水道部

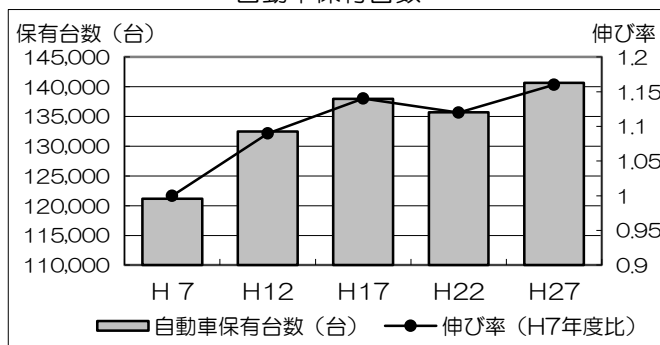
下水道普及率



資料：各年度末(市) 上下水道部

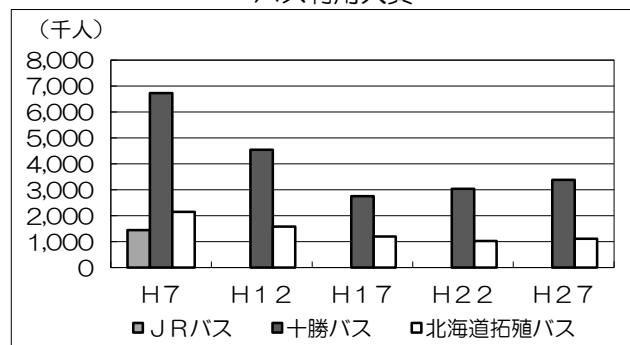
帯広市民の自動車保有台数は、年々増加しています。また、バス利用人員は、平成7年度から平成17年度まで大幅に減少しましたが、近年では若干の増加傾向にあります。

自動車保有台数



資料：各年度末 北海道運輸局帯広陸運支局

バス利用人員



資料：JRバス・十勝バス・北海道拓殖バス (JRバスは、H10より営業廃止)



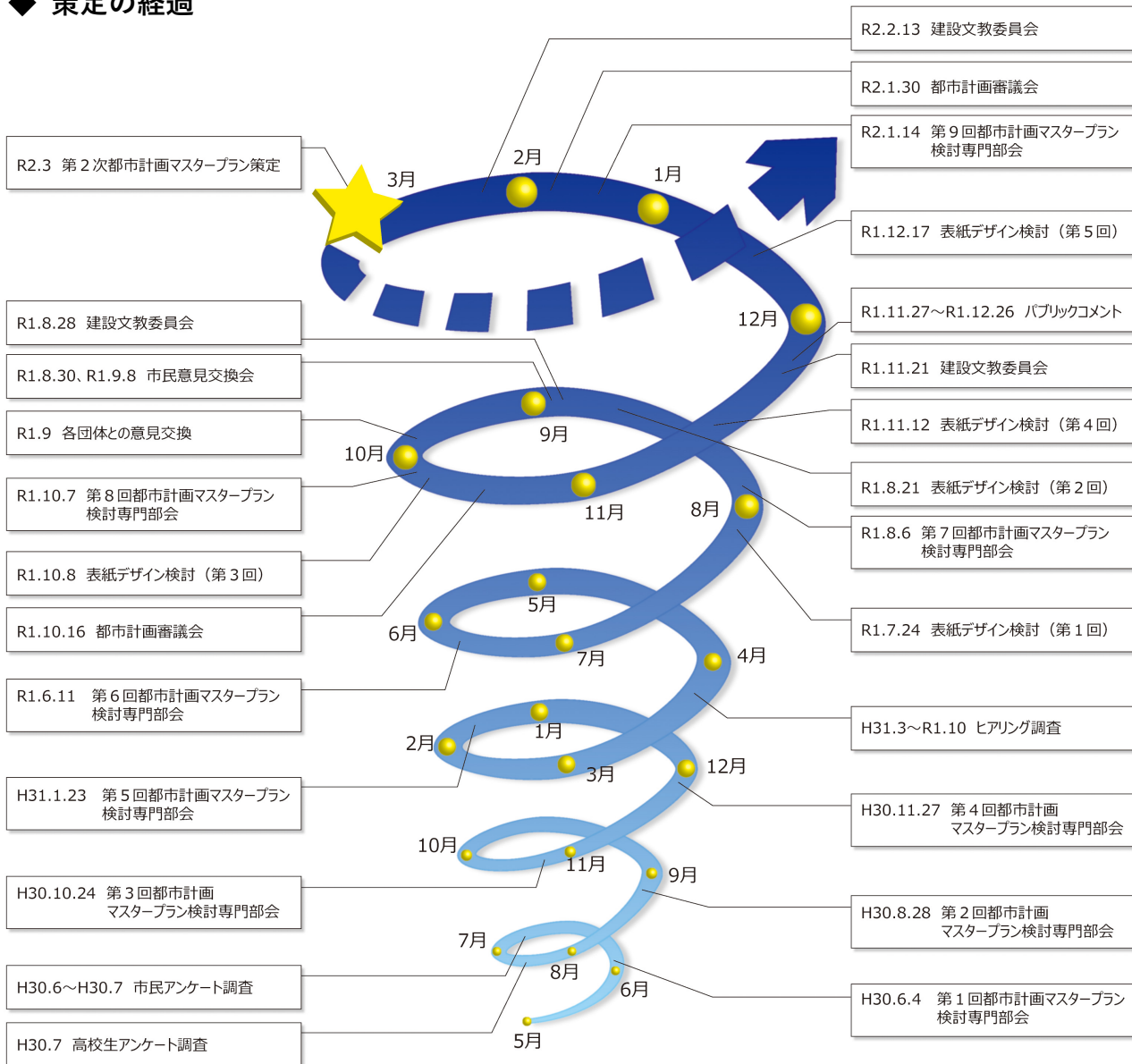
帯広市に暮らす人たちは、自動車を使うことが多いんだけど、これからは、お年寄りが増えるので、これまで車を運転していた人がバスなどで移動することが増えると考えられるよ。

自動車だけじゃなくて、自転車やバスなどをうまく組み合わせて生活することが大切だね。とても勉強になったよ。先生、ありがとう！



## 7 資料（策定の経過・その他）

### ◆ 策定の経過



### ◆ 策定メンバー

（帯広市都市計画マスタープラン検討専門部会）

氏名	職等
河西 智子	帯広市都市計画審議会委員
窪田 さと子	帯広畜産大学 畜産衛生学研究部門 助教
小林 英嗣	（一社）都市・地域共創研究所 代表理事 日本都市計画家協会 会長 北海道大学 名誉教授
関口 真弘	帯広市都市計画審議会委員
長沢 敏彦	帯広市都市計画審議会委員



【五十音順、敬称略】

左から、関口委員、窪田委員、小林部会長、河西委員、長沢委員

## ◆ 表紙・裏表紙デザイン

第2次帯広市都市計画マスタープランで掲げる「市民協働」の実践の第一歩として、表紙・裏表紙のデザインについて帯広畜産大学の学生の皆さんにご協力頂きました。

### ○ 表紙デザインコンセプト

帯広市で生まれた2人が、帯広市で生活し、成長し、結婚を経て、老夫婦になるまでの人生を表現しており、映画のフィルムの中には2人が帯広市で経験した素敵な思い出が描かれている。

### ○ 裏表紙デザインコンセプト

帯広市の四季を円形に描き、四季が回り続け巡っていく様子を表現した。この裏表紙を見て、帯広市への愛着を感じてほしい、という思いを込めた。



### ○ デザインにご協力いただいた学生の皆様

- ・ 帯広畜産大学3年生 鈴木 友莉子、保井 めぐみ、盛 利隆、山口 真生
- ・ // 2年生 富岡 千鈴、森山 さら
- ・ // 1年生 三浦 蒼来、渡邊 夏乃帆

## ◆ 登場人物紹介



先生

- ・ 大学の名誉教授。日本国内だけにとどまらず、世界をまたにかけるとして都市計画の第一人者。



としくん



ますみちゃん

- ・ 帯広市で生まれ育った子供たち。
- ・ 2人は幼なじみ、市内の小学校に通う5年生。
- ・ 表紙にも登場している。
- ・ 帯広のまちが大好き

